（様式第19号）

令和○年度　モニタリング結果報告書

１　活動の目標

|  |
| --- |
| タイプ名： |
| 目標： |
| モニタリング調査方法： |

２　活動実施前の標準地の状況（令和〇年度）　　　　　　　　　　写真

|  |  |
| --- | --- |
| 標準地の状況を記載 |  |

３　活動１年目の標準地の状況（令和〇年度）　　　　　　　　　　写真

|  |  |
| --- | --- |
| 標準地の状況を記載 |  |
| 目標達成度 |  |
| 次年度に向けた改善策 |  |

４　活動２年目の標準地の状況（令和〇年度）　　　　　　　　　　写真

|  |  |
| --- | --- |
| 標準地の状況を記載 |  |
| 目標達成度 |  |
| 次年度に向けた改善策 |  |

５　活動３年目の標準地の状況（令和〇年度）　　　　　　　　　　写真

|  |  |
| --- | --- |
| 標準地の状況を記載 |  |
| 目標達成度 |  |

（注）目標の設定及び標準地の状況の記載については、別に定めるガイドラインを参考とすること。

（様式第19号）

記載例

令和３年度　モニタリング結果報告書

地域環境保全タイプ（里山林保全）、地域環境保全タイプ（竹林整備）、

森林資源利用タイプ をR2年度から実施した場合

１　活動の目標

|  |
| --- |
| 1. 地域環境保全－里山林保全

除伐により高木を育成し、見通しの良い里山林にする。相対間距比を2ポイント以上改善する。　　　初回調査で相対間距比18未満1. 地域環境保全－竹林整備

荒廃竹林を、タケノコが利用できる竹林にする。竹密度をおおよそ3,000本／haに保つ。1. 森林資源利用

搬出間伐により、地域の資源を継続的に生産・利用する。年間木材利用目標：500㎥（森林の材積量÷継続して木材を利用する年数）×50％ |

２　活動実施前の標準地の状況（令和２年度）　　　　　　　　　　写真

里山林保全

調査地の写真

竹林整備

調査地の写真

森林資源利用

調査地の写真

|  |  |
| --- | --- |
| 標準地の状況を記載 | 調査日：R2.7.13①地域環境保全－里山林保全樹高：13m　本数：28本相対間距比：14.5②地域環境保全－竹林整備ﾓｳｿｳﾁｸ　5,000本／ha③森林資源利用樹高：18m 胸高直径：30㎝　本数：20本 |

３　活動１年目の標準地の状況（令和２年度）　　　　　　　　　　写真

※初回と同じ場所で撮影する

森林資源利用

調査地の写真

竹林整備

調査地の写真

里山林保全

調査地の写真

|  |  |
| --- | --- |
| 標準地の状況を記載 | 調査日：R3.2.20①地域環境保全－里山林保全本数：24本 相対間距比：15.7②地域環境保全－竹林整備ﾓｳｿｳﾁｸ　4,200本／ha③森林資源利用本数：15本 |
| 目標達成度 | ①60％　②40%　③100% |
| 次年度に向けた改善策 | 積雪で作業期間が短くなってしまったため、次年度は冬までに計画的に整備を行う。 |

４　活動２年目の標準地の状況（令和３年度）　　　　　　　　　　写真

※初回と同じ場所で撮影する

森林資源利用

調査地の写真

竹林整備

調査地の写真

里山林保全

調査地の写真

|  |  |
| --- | --- |
| 標準地の状況を記載 | 調査日：R4.2.15①地域環境保全－里山林保全本数：22本 相対間距比：16.4②地域環境保全－竹林整備ﾓｳｿｳﾁｸ　3,500本／ha③森林資源利用本数：17本 |
| 目標達成度 | ①70％　②75%　③100% |
| 次年度に向けた改善策 | 目標達成までの数量を意識して効率的に活動を行う。 |

５　活動３年目の標準地の状況（令和〇年度）　　　　　　　　　　写真

|  |  |
| --- | --- |
| 標準地の状況を記載 |  |
| 目標達成度 |  |

（注）目標の設定及び標準地の状況の記載については、別に定めるガイドラインを参考とすること。